

付託議案の取り扱いに関する理事会決定事項

1. 分科会の担当割り振りについて

付託された議案 15 案は、別紙（分科会分担表）のとおり、それぞれの分科会に割り振る。

2. 審査等の日程について

- ・ 3月1日（金） 本会議散会后、全体会で、各分科会の担当割り振り等、付託議案の取り扱いについての議事を行う。
- ・ 3月5日（火） 午前10時、総務分科会で質疑を行う。
- ・ 3月6日（水） 午前10時、健康福祉分科会で質疑を行う。
- ・ 3月7日（木） 午前10時、健康福祉分科会で質疑を行う。
市民環境経済委員会散会后、市民環境経済分科会で質疑を行う。
- ・ 3月8日（金） 建設委員会散会后、建設分科会で質疑を行う。
- ・ 3月11日（月） 文教委員会散会后、文教分科会で質疑を行う。
- ・ 3月14日（木） 午前10時、理事会で、全体会での質疑の通告を含め、3月15日（金）・18日（月）の全体会の議事を確認する。
- ・ 3月15日（金） 午前10時、全体会で質疑を行う。
- ・ 3月18日（月） 午後1時、全体会で討論・採決を行う。

なお、分科会が予定の日程で終わらない場合は、分科会長が委員長に申し出て、適宜分科会を開会することとする。

3つ以上の分科会・委員会が重なるおそれがある場合には、3月12日（火）及び13日（水）の予備日に開会する。また、予備日に3つ以上の分科会・委員会が重なることとなった場合の、分科会の開会時刻や開会場所については、それぞれの分科会長と相談の上、最終的には委員長の判断に任せる。

3. 全体会での質疑について

- ・ 付託された議案 15 案を一括して議題とし、質疑を行う。
- ・ 質疑方式は、従来方式・対面方式から選択する。
- ・ 時間については、所属議員 3 人以上の会派は 1 会派 30 分以内、無所属の委員は 1 人 10 分以内とする。
- ・ 質疑者は、1 会派 1 人、ただし必要がある場合は複数とする。

- ・ 質疑の順序は、会派呼称順及び無所属議員の呼称順に行う。
 - ・ 質疑者の有無、質疑者の名前は、3月14日（木）の理事会で質疑方式も含めて通告する。
 - ・ 質疑者の一覧については、3月14日（木）の理事会散会后、議員全員にメールで知らせるとともに、議会会議システムに配架する。
 - ・ 資料の配付及び掲示を行う場合は、3月14日（木）の午後1時までに委員長の許可をとる。
4. 討論及び採決について
- ・ 討論・採決の順序は、別紙（討論・採決順序表）のとおりとする。
 - ・ 討論の方法は、1会派1人、挙手により発言を求め、反対、賛成の順に行う。無所属の委員も挙手により発言を求め、反対、賛成の順に行う。
 - ・ 討論を行う場は、演壇とする。
 - ・ 採決は、会議規則の規定により、挙手による表決となる。
5. 全体会の執行部への出席方要求について
- ・ 3月1日（金）の全体会の出席理事者については、求めない。
 - ・ 3月15日（金）の質疑を行う全体会及び3月18日（月）の討論・採決を行う全体会の出席理事者については、それぞれ本会議出席者とする。
6. 修正案等について
- ・ 予算案に対し、修正案・組み替え動議を提出予定の会派、または、無所属委員は、全体会での質疑を行う3月15日（金）の午後5時、あるいは、全体会の散会時刻が午後4時を過ぎた場合は、全体会散会后1時間以内に事務局へ提出する。
 - ・ 修正案等が提出された場合は、3月18日（月）の討論・採決の日の午前9時から会派控室に配付するとともに、議会会議システムに配架する。